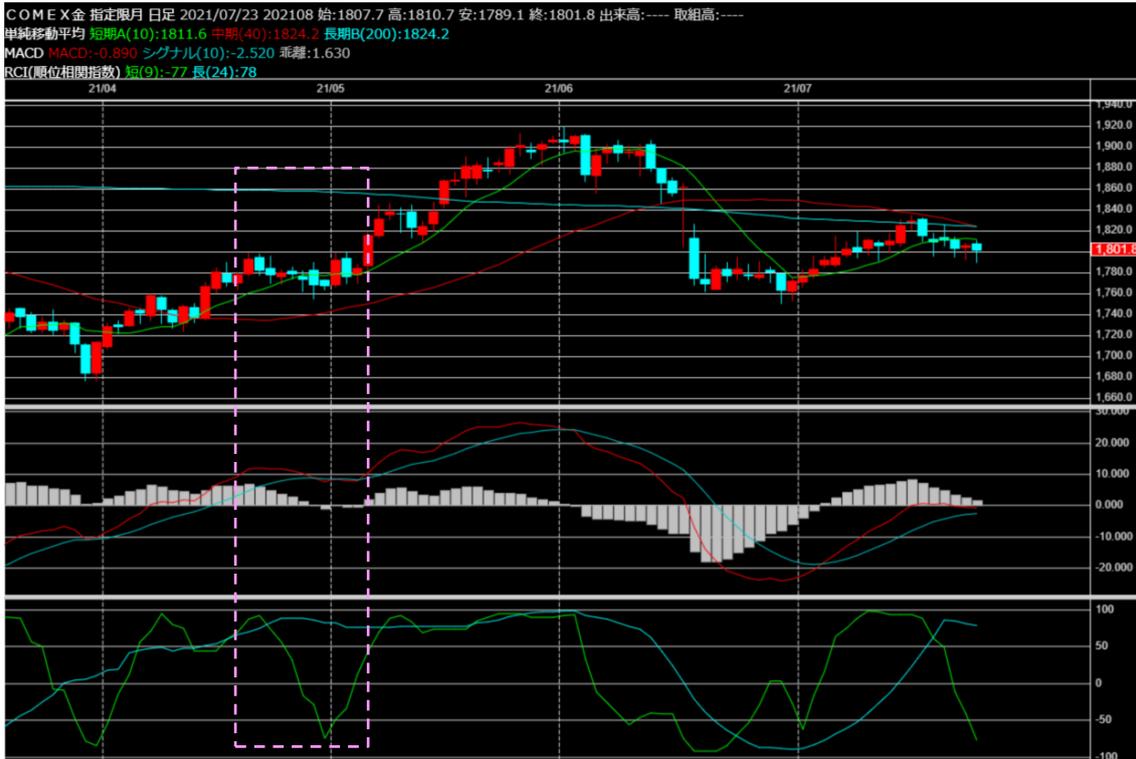


<NY 金、1850 ドルに向けた戻り基調に備える>



(出所：オアシス)

イエレン財務長官は、債務上限の適用停止処置の期限が 7 月 31 日で終了するにあたり、7 月 30 日に財務省は緊急処置を開始すると発表している。特に報告書では 10 月 1 日だけで緊急措置を含めた資金は 1500 億ドル（約 16 兆 6000 億円）減少する見通しだと説明し、議会予算局（CBO）は議会が債務上限を引き上げない、もしくは適用を停止しない場合に米国がデフォルトに陥るのは 10 月か 11 月になりそうだとしている。

特に 2011 年のオバマ大統領時代に債務上限問題を受け大手格付け会社 S&P は米国の格付けを「AA+」に引き下げ発表するなどドル安の動きを見せるなど、NY 金は史上最高値 1917.9 ドルまで買われている。

また今週は 27 日、28 日に FOMC の開催を控えており、先週の ECB 理事会ではインフレ率 2%を超えるまで超緩和策継続に言及するなど、テーパリングの協議開始を強める FRB との違いが鮮明となるため、ドル高：ユーロ安の動きには注意が必要であり、28 日まで下値を模索しても、FOMC が過ぎると買い戻しの動きを強めて来るのではないかと見られる。

(2021 年 7 月 25 日記載)

<テクニカル>

NY 金の日足は 1800 ドルで下値抵抗を示す下ヒゲを続けるなど、1800 ドルで買い戻しを強めているように思われる。また MACD や RCI（短期、長期）の動きは、今年 5 月と同様であり、一時的に弱気の動きを示しているが、RCI の長期の高値維持が強気を支持しており、1850 ドルに向けた上昇になるか注目したい。